

**経験を力にかえて、  
継続していける事を考えていきませんか？  
～介護発の感染対策～**



**社会福祉法人海印寺徳寿会  
特別養護老人ホーム 竹の里ホーム  
介護係長 仲本 知史**

## 本日、お伝えしたい事

- **介護職が主体的に感染対策を考えられるようにする**
- **看護師と介護職の連携を強化する**
- **『対策を守る事』から『続けられる対策』へ見直す**

# 当施設が感染症で学んだこと

**コロナ前**

結核や疥癬、インフルエンザ、ノロウイルスを経験しながらも死者は出る事はなく、エプロンやグローブを使用していれば、感染症は防げると思っていた



**2022年2月**

たった1人のショート利用者から、職員・利用者がコロナに感染。その後、コロナはとどまる事なく、約半数の職員が感染し、利用者からは死者も…



自施設だけの対応ではコロナを終息させる事は困難な為、京都府感染施設内感染専門サポートチームのご指導を受け、なんとかコロナクラスター終息させる

## これまでの感染対策

- ・ **感染対策は看護師中心で決定し、  
介護職は実施する立場**
- ・ **現場の動線と考え方にズレがあり、  
実践しにくい状況であった**

京都府感染施設内感染専門サポートチームより、  
施設内で自立的に感染対策がとれる  
体制の構築を可能にするようにとの助言を受け、現在に至る

# 現場主導で“使える手順書”を作成

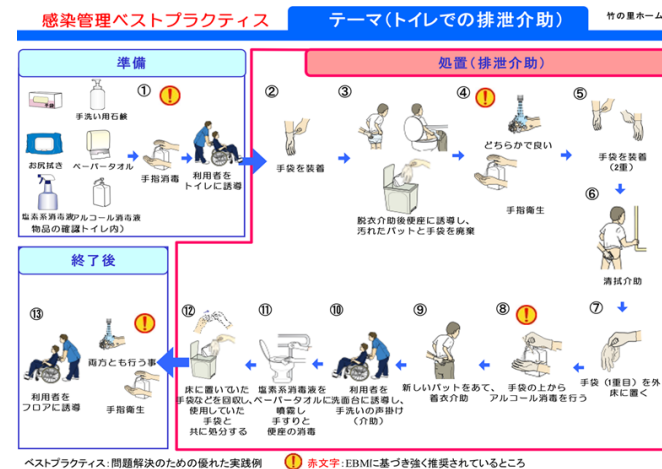
- ・ 介護職が感染対策を学習
- ・ 現場ベースで手順書を作成
- ・ 特徴：実践場面に即した内容

(例) PPE着脱、熱発者の居室変更、排泄介助、食事介助、  
バルーン尿処理、口腔ケア 等

- ・ 図やフローチャートを活用

## 成果

- ・ 判断のばらつき減少
- ・ 統一性向上
- ・ 「自分たちの基準」として定着



ベストプラクティス:問題解決のための優れた実践例 ①赤字:EBMIに基づき強く推奨されているところ

手順	感染管理のポイント	チェック	理由
1 手指衛生 利用者をトイレに誘導	・擦式アルコールを使用し、手指消毒を行う。		・自らが感染媒介とならない為、手指消毒を行う必要がある。
2 手袋を装着	・手袋の種類は問わない。		・排泄介助からの感染リスクを下げる為にも手袋の装着が必要。
3 脱衣介助後使用した床、汚れたバットと手袋を廃棄	・汚染したバットを床に置き、廃棄に誘導する事(床からの感染リスクは低い)、汚染したバットと手袋を廃棄		・バットを床に置き、廃棄への誘導を促す(汚染したバットを床に置き、バットを廃棄の高確率を促す事で感染リスクを下げられる)
4 手指衛生	・擦式アルコール、もしくは石鹸を使用し、流水洗浄を行う。		・自らが感染媒介とならない為、手指衛生を行う必要がある。
5 手袋を装着(2重)	・拭き取り介助と着衣介助は別の処置の為、手袋を別に装着する。 ・手袋が汚れる前に使用する物品(お尻拭き等)は用意する。		・感染リスクを下げる為にも手袋の着用が必要。
6 清拭介助	・使用したお尻拭きを未洗する。 ・清拭タオルを使用した場合は拭いた面を中表にして床に置く。		・使用したお尻拭きや清拭タオルを適切に処理しない汚染につながる。
7 手袋(1重目)を外し、床に置く	・手袋は裏面を外す。 ・汚染物は散らばらない様にまとめる。		・拭き取り介助からの手指汚染を擦る切る。
8 手袋の上からアルコール消毒を行う	・手袋に目に見える汚れがある場合は交換を行う事。		・手袋にはピンホールがある可能性がある為、アルコール消毒を行う。
9 新しいバットをあて、着衣介助	・捨棄に手袋が触れない様、排泄物が濡れない様に注意する。		・排泄物が濡れると汚染が拡大する可能性がある。
10 利用者着衣後使用した床、手洗いの声かけ(介助)	・自らが感染媒介とならない為、手指衛生を行う必要がある。 ・声掛けにて十分な時間は介助を行う。		・自らが感染媒介とならない為、手指衛生を行う必要がある。
11 手すりや便座の消毒	・0.05%に薄めた塩素系消毒剤をペーパータオルに噴霧し、使用する。		・使用後、消毒を行う事により、次の利用者への感染とならない様子にする。
12 床に置いていた手洗いや着衣介助のバットを回収し、処分する	・消毒後のペーパータオルと共に床に置いていた汚染物、手袋を廃棄する。		・汚染物が感染源とならない様に適切に処理する。
13 手指衛生 利用者をフロアに誘導	・石鹸を使用し流水洗浄後、擦式アルコールも使用し、手指消毒を行う。		・利用者、職員が感染媒介とならない様に手指衛生を行う必要がある。

参考文献

# 介護職が学ぶ事による変化

1. 現場から改善意見が出るようになった
2. 実感染対策の理解が深まった
3. 実行できる方法を考えるようになった
4. 『どうすればできるか』という考え方に変化
5. 現場に合う対策へ改善

看護主導から  
『介護・看護連携』へ

# 継続できない理由

- 手順が複雑で、現場の中で組み込めていない
- 忙しくて優先度が下がっている
- やり方にばらつきがある
- やらされ感が出る

また、  
有事には一生懸命行すが、  
平時になると意識が薄れ、  
おろそかになる事もある

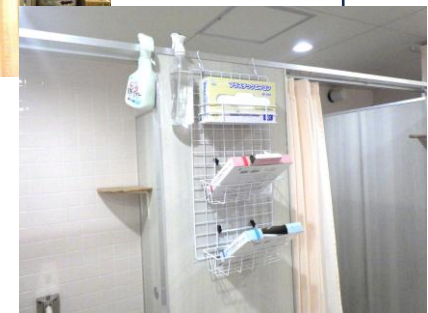
# 継続するための工夫



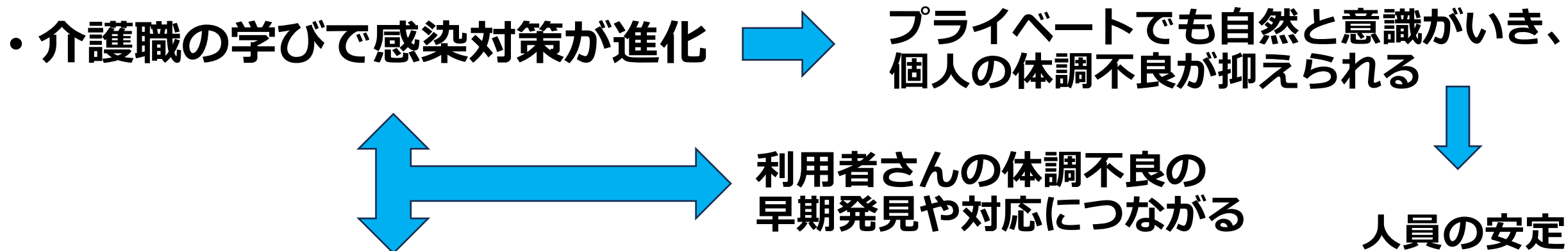
- 動線に合わせて物品を配置 →

例) アルコール消毒液の所持、必要物品を配置など

- 手順をシンプルにする
- 見える化する (イラスト手順書の作成・掲示)
- 声かけ、確認を習慣化
- チームで共有する
- 日々、改善を続ける



# まとめ



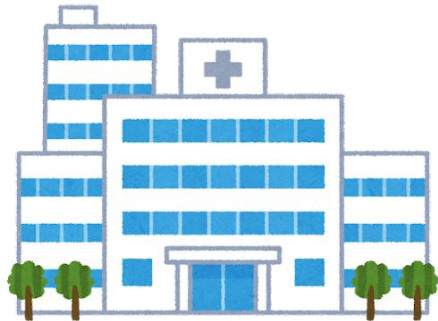
・ 看護師との連携で実行力が向上

・ 小さな改善の積み重ねが大切

・ 大事なものは『続けられる対応である事』

継続できる感染対策が  
確立できる事で、  
利用者さん・職員の  
安全確保につながります

# 高齢者施設 「感染対策の取り組み」のご紹介



特別養護老人ホーム 竹の里ホーム  
感染管理認定看護師 花瀬朋子

(対象サービス)

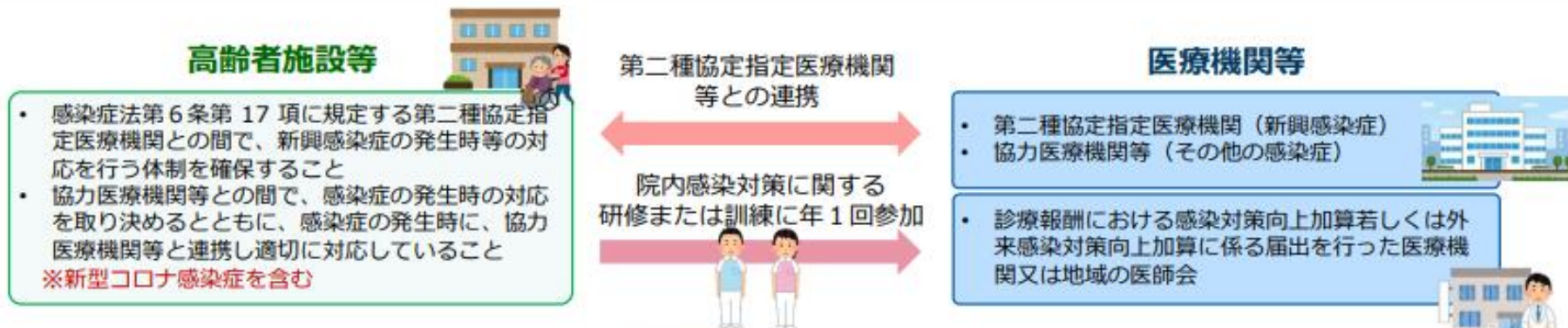
特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院

## ① 新興感染症の対応を行う医療機関との連携 (新設)

第二種協定指定医療機関との連携を行うことを高齢者施設等の運営基準において努力義務化。

## ② 高齢者施設等感染症対策向上加算 (I) 10単位/月 (新設)

新興感染症の対応を行う医療機関と連携した上で、当該医療機関等が行う院内感染対策に係る研修又は訓練に年1回以上参加することなどを評価。



## ③ 高齢者施設等感染症対策向上加算 (II) 5単位/月 (新設)

感染対策に係る一定の要件を満たす医療機関から、感染制御等の実地指導を受けることを評価。

### 高齢者施設等



3年に1回以上  
実地指導を受ける



### 医療機関等

診療報酬における感染対策向上加算に係る届出を行った医療機関



※ 新型コロナウイルス感染症については、これまでの新型コロナ対応において、高齢者施設等と医療機関との連携体制の構築等を進めており、令和5年10月1日時点で高齢者施設等の概ね9割の高齢者施設等が医療機関との連携体制の確保、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を行っていることを確認している。

竹の里ホーム  
第2竹の里ホーム

感染制御の実地指導



ラウンド  
風景



さいごに  
総合評価  
ミーティング

施設の感染対策の確認が  
できます！  
・必要な対策のアドバイス  
・過剰な感染対策の整理  
が業務軽減に！



一般社団法人 日本感染管理ベストプラクティス研究会

## 京都介護施設 ワーキンググループのご案内



吸引やオムツ交換、清掃など日常のケア・作業  
テーマ毎のグループにわかれて、感染対策の疑問  
点について話し合いながら、それぞれのご施設のイ  
ラスト手順書とチェックリストを作成します。  
急性期の医療施設から介護施設まで、それぞれの  
ご施設でできる「感染対策の最善策」をみんなか  
えましょう！  
★ワーキンググループに初めて参加のご施設で複  
数名参加される場合は、同じテーマをお二人以上で  
作成されたほうが進めやすいと思います。

- 手順のマニュアルを作成しても守ってくれないことを良く経験します。それを解  
消できる方法があります！感染対策のことを基本から学びながら、私たちと一緒に  
イラスト付きの作業手順書を作成して、施設内での遵守率を上げませんか？  
日本感染管理ベストプラクティス研究会のアドバイザーが懇切丁寧に教えます。

一般社団法人 日本感染管理ベストプラクティス研究会  
代表理事 藤田 直久

**感染管理ベストプラクティスとは**

日々行っている処置・ケアの一連の「流れ」の中に、感染管理のポイントをわかりやすく示した「イラスト手順書」と手順書に対応した「チェックリスト」を作成します。

実施状況を評価し、現場の感染予防策のプロセス管理(リスクポイントとプロセスの標準化)を目指します。

	日時	プログラム	事前準備
第1回	2026年 6月13日(土) 9:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション(年間取り組み説明)</li> <li>基礎講座「感染対策の基本」 ～標準予防策・感染経路別予防策～ 京都鞍馬口医療センター 感染対策室 中村早苗 (感染制御実践看護師)</li> <li>「感染管理ベストプラクティスって何？」 特別養護老人ホーム 竹の里ホーム 花瀬朋子 (感染管理認定看護師)</li> <li>現状手順の書き出し ・解決策の検討</li> <li>イラストダウンロード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;参加者&gt;</li> <li>・テーマを決めてくる</li> <li>・パソコン持参</li> <li>・筆記用具</li> </ul>
第2回	2026年 7月18日(土) 9:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>見直した手順の検討・チェックリスト作成</li> <li>・チェックリスト完成する</li> <li>・次回までの課題</li> <li>チェックリストを基に施設で教育前の評価をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・パソコンない場合 見直した手順記録用紙・ チェックリスト用紙・イ ラスト、筆記用具・のり</li> </ul>
第3回	2026年 9月19日(土) 9:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト手順書を完成する</li> <li>施設での教育と教育後評価の実施の説明</li> <li>・発表についてPPT作成の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・パソコンない場合 イラストと手順書用 紙・のり・はさみ</li> </ul>
第4回	2027年 2月13日(土) 9:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別講座</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・グループ発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に発表資料を 担当者にメール送信</li> </ul>
開催場所		社会福祉法人海印寺徳寿会 竹の里ホーム 〒617-0853 長岡京市奥海印寺走田1-1	

\*アドバイザー：京都府の感染管理認定看護師、感染制御実践看護師等  
\*\* 代表責任者：特別養護老人ホーム 竹の里ホーム 花瀬朋子  
当日の連絡先：090-1155-8329

ワーキンググループのご参加の方は、作成テーマ(処置名)欄に今回のワーキンググループの中で  
作成を希望される手順書・チェックリストの処置・作業名を入会后メールで確認します！

カテゴリー	作成テーマ(処置名)例
吸引・口腔ケア	吸引(気管内、口腔)、口腔ケア・清拭、義歯の洗浄、検体採取(喀痰)
血管カテーテル管理 関連	末梢カテーテル留置・管理、中心静脈カテーテル留置・交換、PICC留置・ドレッシング交換、 薬剤輸液の混注作業、検体採取(採血、血液培養)、その他
創処置	創部ドレッシング交換、褥瘡処置、
尿路カテーテル管理 関連	導尿、尿道カテーテル留置・管理(尿回収)、ポータブルトイレ・尿器・容器の洗浄管理、 検体採取(尿)、その他
おむつ交換	おむつ交換、トイレ誘導、陰部洗浄、検体採取(便)、その他
環境整備(病室・居 室清掃など)	病室、居室の清掃・環境整備、トイレ清掃、嘔吐物処理、その他

参加申込：一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会ホームページ  
(<https://www.bespra-ipc.or.jp/index.html>)

参加資格：一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会 一般会員の方  
※一般会員でない方は一般会員お申込み後、お申込みください。(年会費3000円)  
※同じ施設から複数ご参加いただく場合もお一人ずつお申込みをお願いいたします。

受付は先着順となりますので、お早めにお申し込みください。

参加費：無料  
定員：10名 ※10名となり次第、締め切らせていただきます。

問合せ：一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会  
事務局 E-mail: [jimukyoku@bespra-ipc.or.jp](mailto:jimukyoku@bespra-ipc.or.jp)

個人情報保護：皆さまより取得した個人情報については、セミナーに関する情報提供以外での  
利用、及び無断での第三者への開示は一切いたしません。

QRコード: ホームページ, 事務局メール

申込締切 2026年 6月5日(金)

【会場ご案内】  
社会福祉法人海印寺徳寿会 竹の里ホーム  
〒617-0853 長岡京市奥海印寺走田1-1

交通のご案内  
JN長岡京西口又は阪急長岡天神駅(長岡天神駅前  
バス停)から阪急バス「光福台-美竹台」方面行きに  
乗車、「美竹台住宅前」停留所下車すべ



日本感染管理ベストプラクティス研究会  
第4回 学術集会のご案内

テーマ「感染対策 今昔」

日時：2026年6月27日(土)  
場所：ドーンセンター  
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)  
<https://www.dooncenter.jp/shisetsu/map.php>

- 1) シンポジウム 感染対策 今昔  
手指衛生と環境整備；  
ベスプラ応用事例；おむつ交換とCD腸炎
- 2) ベスプラ一般演題発表
- 3) ベスプラワーキングの案内
- 3) 特別講演：AIを活用した感染対策  
会員:3000円、非会員:4000円

主催：一般社団法人 日本感染管理ベストプラクティス研究会

# 令和7年度の研修会のようす

## 1回目



- 感染対策に必要な基礎学習
- 施設の今のケア手順を振りかえります。

## 2回目・3回目



- 感染管理認定看護師の方が  
アドバイザーとして、
- 新しい感染対策を組み込んだ  
ケア手順書をいっしょに考え作成

## 4回目



- 作成したケア手順書を
- 施設で伝達
  - 遵守状況を調査
  - 結果を他の参加者と共有